

平成 30 年度 第 3 回長和町公共交通審議会が 1 月 28 日（月）に開催され、JR バス関東からのバス再編案の提案を受け、検討を行いました。

(1) JR バス関東からの「バス再編（案）」について（JR バス関東より説明）

ア. 4 条路線バスを廃止し、町契約の巡回バスとする。（定額料金で利用しやすくなる。）

イ. 日中は、丸子中央病院～入大門及び和田宿ステーションを基幹バスとして毎日運行する。

ウ. 朝夕は、学生輸送等の巡回バスを運行する。

（朝）姫木平～上田

唐沢～上田

姫木平～丸子中央病院

男女倉～丸子中央病院

（夕）上田～姫木平

上田～男女倉

丸子中央病院～入大門

エ. ワゴン車（支線バス）で交通空白地域を解消する。（曜日別運行）

姫木・白樺湖線（入大門で基幹バス接続）週 2 回（月・水）3 本運行

男女倉線（和田宿 ST で基幹バス接続）週 2 回（火・金）3 本運行

細尾・大出線（和田宿 ST で基幹バス接続）週 2 回（火・木）3 本運行

別荘線（和田宿 ST で基幹バス接続）週 1 回（水）3 本運行

オ. 市街地循環バスの設定

○依田窪病院～役場～やすらぎの湯～立岩～岡森～学者村～

立科町役場～立科ツルヤ～依田窪病院

○役場～やすらぎの湯～病院～古町～長久保～役場

カ. 蓼科高校線・小中学校はスクールバスを運行

この運行で、スクールバスを除き 7,150 万円見込み

敬老パスや商店などと連携をしているところもある。

委員 運転手が不足している中で、1 日何人必要か。

JR バス 12 行路 12 人で運行する。

委員 運転手の勤務時間は長くなるのか。

JR バス 規定の勤務時間内で運行する。

- 委員 大型バスの運行は無くなるのか。
- JR バス 朝夕は大型バスでの運行  
日中の基幹バスはポンチョ（マイクロバス）、支線バス・市街地循環バスは、ワゴン車で行う。
- 委員 利用者を増やすためには、住民がバスを利用する意識づけが必要  
利用者に分かり易くしなければならない。
- 会長 町での PR、町民への周知が必要
- JR バス 町と JR の共同により PR したい。
- 委員 支線バスの乗り場はどうするのか。
- JR バス ルートを決めて、手をあげてもらってフリー乗降でよいと思う。
- 委員 丸子中央病院の千曲バスへの連絡で、ダイヤ改正があった場合はどうなるか。
- JR バス 利便性が良いよう、臨機応変に対応する。
- 委員 町の負担はどのくらい増加するか。
- JR バス 約 1200 万円増となる。
- 委員 他の地域で、このような事例はあるか。
- JR バス このような事例はない。  
長久保営業所の乗務員も高齢となっているが、バス業界の乗務員不足が懸念されている。収支を考えると 4 条バス路線の存続が難しく、経営的には全撤廃も視野に入れなければならない。今までの経過もあり長和町の輸送を担って行きたいとの思いから提案した。
- 委員 学校行事などの際は、バスの時間を変更してほしい。
- JR バス 町の契約バスは貸切輸送となり、臨機応変に対応できる。
- 委員 お年寄りが利用してくれるかが心配。日中の接続はできるのか。
- JR バス 基幹バスが丸子中央病院まで運行するため、千曲バスに接続できる。
- 副町長 スクールバス・上田への通学・日中の高齢者等の利用、別荘・観光客等長和町に来る方の利用、利用者が少ない現状、利便性のよい公共交通を考えてのバス再編案を提案いただきありがとうございました。  
支線バスから基幹バスへの乗り換えが必要になってしまうこともあるが、提案を基に新公共交通体制の更なる検討をしたい。
- 委員 国道でのフリー乗降はできるのか。
- JR バス 交通量の多い国県道でのフリー乗降は許可がおりず町道のみとなる。
- 委員 細い農道等を運行するには、駐車をしないようにしなければならない。
- JR バス バスルートや時間帯を事前に説明して、ご協力をお願いしたい。

- 委員 費用的に町は対応できるのか。
- 事務局 この新公共交通体制とすると町が決定すれば実施すると思うが、上田まで定額料金で行けることとなれば、もしかすると現在行っている高校通学補助（年間 1050 万円）の見直し等の検討も必要と思う。
- 副町長 住民サービスの低下にならないように慎重な検討が必要
- 委員 支線に入って何名の利用があるかの把握が必要でないか。  
また、乗り換えも大変と思うし、上田までの料金も検討しなければならない。
- 事務局 免許の返納者等日々状況が変わっていくと思うし、急な利用も考えられるため、把握は難しい。
- 委員 JR バスにお願いしても、乗務員不足等により JR が対応できなくなってしまうことも考えられる。町の負担もどんどん増えてしまうのではないか。
- 副町長 近隣市町村のデマンド交通状況を視察してきたが、予約制のデマンド交通は高齢者に優しく利便性や効率が良いが、どの市町村も鉄道等の基幹的な交通があるため、あまり通学などは考えなくても良い状況が長和町と異なっており、デマンド交通を行う際も、通学用の大型バス運行は必須である。観光客や町外者はデマンド交通は利用しにくく、長和町に来る手段がなくなってしまうのも如何かと思う。予約制のデマンド交通、JR の時間運行それぞれに一長一短があり非常に難しいが、今回 JR バスが行える長和町に適した提案をしてもらった。
- 委員 一案として、日中は高齢者を主とした予約制のデマンド交通で、朝夕の通学を主とする基幹交通のみの JR バス運行体制の対応はできるのか。
- 事務局 JR バスに確認する。
- 委員 JR の提案は、町の実情や今までのノウハウにより非常に良く考えられている。高校通学補助は、通学区の廃止など状況も変わっていくので、慎重な検討が必要。いずれの交通体制にしても、利用状況等をみながらの対応や運行開始後の調整が必要。
- 委員 別荘地内の路線は、乗車時間が長くなってしまいが良いのか検討が必要

(2) 地区要望の対応について

①姫木地区要望

白樺湖～姫木平間の巡回バス運行延長見積額

1年間毎日 午前・午後の2往復運行 292万円 (8,000円/日×365日)

②中山道 和田峠越え観光客利用

ふれあいの湯～男女倉間の巡回バス運行延長見積額

1年間毎日 1便運行延長 249万円 (6,822/日×365日)

上和田～長久保行きを土日祝日も運行 1便運行延長 194万円

合計 443万円

委員 白樺湖のバス停をどのように考えるか。案内所などもあったほうが良いのではないか。

事務局 茅野から白樺湖に来るバスと接続できる場所を考えたい。

副町長 観光的には、定時バスのほうが利用しやすいと思う。

委員 中山道の峠越えは、冬季は利用しないため、季節的な運行を検討しても良い。

会長 平成32年度新公共交通体制構築の中で検討していく。

(3) その他

- ・第2回会議録 (広報2月号、町ホームページに掲載した。)
- ・次回公共交通審議会 2月26日(火)午後6時30分～

4 閉 会